



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場会社名 株式会社新川 上場取引所 東
 コード番号 6274 URL <http://www.shinkawa.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 長野 高志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 森 琢也 (TEL) 042-560-4848
 経営企画部長兼経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	6,046	△21.1	△507	—	△913	—	△995	—
28年3月期第2四半期	7,663	41.1	160	—	△57	—	△207	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △1,119百万円(—%) 28年3月期第2四半期 △764百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△54.73	—
28年3月期第2四半期	△11.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	22,901	19,451	84.9
28年3月期	23,340	20,570	88.1

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 19,451百万円 28年3月期 20,570百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期の期末配当予想については未定です。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,300	36.6	410	—	220	—	100	—	5.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付ページ3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年3月期2Q	20,047,500株	28年3月期	20,047,500株
29年3月期2Q	1,873,789株	28年3月期	1,873,627株
29年3月期2Q	18,173,837株	28年3月期2Q	18,173,962株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
5. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国、欧州の内需が堅調に推移したことから回復基調を維持したものの、中国を始めとする新興国経済の低成長化、英国のEU離脱問題に伴う為替相場への影響等、依然として先行き不透明感の拭えない状況が続きました。

エレクトロニクス業界においては、モバイル機器の機能向上やIoT関連需要の増加に伴い、電子部品市場において活発な設備投資が継続しました。また、第1四半期連結会計期間には、PCの需要低迷やDRAM価格の下落により、メモリ市場において設備投資が抑制されましたが、第2四半期連結会計期間には、スマートフォンの大容量化やサーバーのSSD化を背景としてNAND型フラッシュメモリの需要が急増し、メモリメーカー各社は積極的な設備投資を開始しました。

このような状況のもと、当社グループは、市場の変化に迅速に対応すべく、タイ工場、国内工場および外部委託先の3工場を基軸とした生産体制の確立を推進するとともに、市場を絞った販売計画の実践と新製品群の顧客認定取得に注力しました。

これらの結果、ワイヤボンダUTC-5000シリーズおよびダイボンダSPA-1000の販売が順調に推移したものの、当第2四半期連結累計期間での大幅な売上高増進には至りませんでした。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高6,046百万円（前年同期比21.1%減）、営業損失507百万円（前年同期は営業利益160百万円）、経常損失913百万円（前年同期は経常損失57百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失995百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失207百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より438百万円減少し、22,901百万円となりました。主な増加は、受取手形及び売掛金1,891百万円であり、主な減少は、現金及び預金1,586百万円および商品及び製品501百万円です。

負債合計は、前連結会計年度末より681百万円増加し、3,451百万円となりました。主な増加は、買掛金844百万円です。

純資産は、前連結会計年度末より1,119百万円減少し、19,451百万円となりました。主な減少は、利益剰余金995百万円です。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の88.1%から84.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末より1,654百万円減少し、4,600百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,294百万円の支出（前年同期は559百万円の支出）となりました。その主な要因は、仕入債務の増加額1,152百万円および減価償却費239百万円を計上したものの、売上債権の増加額2,087百万円および税金等調整前四半期純損失914百万円を計上したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、209百万円の支出（前年同期は561百万円の収入）となりました。その主な要因は、定期預金の預入による支出241百万円および有形固定資産の取得による支出189百万円があったものの、定期預金の払戻による収入216百万円があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、0百万円の支出（前年同期は1百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社が事業展開している半導体業界の市場環境と直近の受注状況などを踏まえ、当社グループの業績予想を精査した結果、平成29年3月期の業績見通しを修正しました。

詳細につきましては、本日（平成28年11月7日）公表しました「営業外費用の計上および平成29年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異ならびに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

なお、連結子会社の法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しています。

(2) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しています。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、製品の開発および評価期間の長期化や売上高に対して固定費の比重が高いことなどから、過年度より継続して、営業損失、経常損失および親会社株主に帰属する当期純損失を計上してきました。

このような状況により、当社は継続企業の前提に関する重要事象等が存在しています。当社グループは、当該状況を解消すべく、引き続き以下の施策に取り組んでいきます。

① 事業効率の改善

グローバルな市場ニーズの変化にタイムリーかつスピーディーに対応するため、営業・技術・生産体制を再構築しました。

営業については、各国販売拠点が主体の各地域に密着した販売活動を行うことにより、顧客満足度の向上を図ります。

技術については、生産・品質部門と連携し、開発・設計からのコストダウンを推進するとともに、製品のプラットフォーム化や海外拠点エンジニアの強化等により、開発・設計体制のグローバル化と効率化を図ることで収益性改善を目指します。

生産については、最適地生産によるコスト低減を実現するために、一部製品の製造業務を外部に委託するとともに、フレキシブルできめ細やかな生産を目指すべく生産機能を子会社へ移管しました。タイ工場・国内工場および外部委託先それぞれが相互補完関係を築き、グループ全体の生産効率向上に努めていきます。

② ビジネスチャンス拡大に向けた商品力の向上

先端パッケージ向けとして、今後も拡大が期待されるリップチップボンダ市場では、現在主流であるマスリフローに加え、TCB、ファンアウト・ウェーハ・レベル・パッケージングなど、多様な実装工法が採用されています。このような状況のもと、高生産性のマスリフロー装置を早期に市場投入するとともに、次世代パッケージング工法に向けて、ひとつのプラットフォームで幅広い実装ニーズに対応できる新しいコンセプトの装置を開発、市場投入し、商品ラインアップを強化しています。

ワイヤボンダ、ダイボンダについては、パッケージの微細化・高密度化に対応した精度・機能の向上に加え、実装プロセスサポートや装置の生産性を最大限に引き出す管理機能、メンテナンスサポート機能の向上など、多様な実装ニーズへの対応や生産性改善に向けた総合的なサポート機能の充実が求められています。「新川スマート・ボンディング・ソリューション」のコンセプトのもと、トータルソリューション提案を強化し、競争優位性を高めています。

また、当社グループは外部からの借り入れもなく自己資本比率も84.9%であり、事業運営を進めるための十分な運転資金を有しています。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しています。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,440	4,854
受取手形及び売掛金	3,079	4,970
商品及び製品	2,901	2,400
仕掛品	1,402	1,443
原材料及び貯蔵品	436	619
その他	712	471
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	14,969	14,755
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,189	3,153
その他(純額)	2,166	2,002
有形固定資産合計	5,355	5,155
無形固定資産		
その他	53	49
無形固定資産合計	53	49
投資その他の資産		
投資有価証券	2,464	2,558
その他	498	383
投資その他の資産合計	2,963	2,942
固定資産合計	8,370	8,146
資産合計	23,340	22,901

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	644	1,488
未払法人税等	169	116
引当金	394	360
その他	401	301
流動負債合計	1,608	2,264
固定負債		
退職給付に係る負債	880	890
その他	283	296
固定負債合計	1,162	1,186
負債合計	2,770	3,451
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,360	8,360
資本剰余金	8,907	8,907
利益剰余金	5,483	4,488
自己株式	△3,150	△3,150
株主資本合計	19,600	18,605
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	866	938
為替換算調整勘定	166	△61
退職給付に係る調整累計額	△63	△31
その他の包括利益累計額合計	970	845
純資産合計	20,570	19,451
負債純資産合計	23,340	22,901

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	7,663	6,046
売上原価	5,063	4,251
売上総利益	2,600	1,795
販売費及び一般管理費	2,440	2,302
営業利益又は営業損失(△)	160	△507
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	32	30
受取賃貸料	16	3
その他	8	10
営業外収益合計	58	46
営業外費用		
為替差損	273	451
賃貸収入原価	1	0
その他	2	1
営業外費用合計	275	452
経常損失(△)	△57	△913
特別損失		
固定資産売却損	3	1
特別退職金	72	-
特別損失合計	75	1
税金等調整前四半期純損失(△)	△131	△914
法人税、住民税及び事業税	92	85
法人税等調整額	△16	△5
法人税等合計	76	81
四半期純損失(△)	△207	△995
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△207	△995

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△207	△995
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△361	71
為替換算調整勘定	△166	△227
退職給付に係る調整額	△31	31
その他の包括利益合計	△557	△124
四半期包括利益	△764	△1,119
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△764	△1,119
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△131	△914
減価償却費	265	239
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
受取利息及び受取配当金	△35	△33
為替差損益(△は益)	179	121
有形固定資産売却損益(△は益)	3	1
売上債権の増減額(△は増加)	156	△2,087
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,071	130
仕入債務の増減額(△は減少)	△17	1,152
賞与引当金の増減額(△は減少)	-	5
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△11	50
その他の引当金の増減額(△は減少)	24	△39
特別退職金	72	-
その他	54	188
小計	△511	△1,187
利息及び配当金の受取額	36	33
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△25	△141
再就職支援奨励金の受取額	12	-
特別退職金の支払額	△72	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△559	△1,294
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△103	△189
有形固定資産の売却による収入	261	1
貸付けによる支出	△28	△3
貸付金の回収による収入	9	8
無形固定資産の取得による支出	△10	△26
定期預金の預入による支出	△256	△241
定期預金の払戻による収入	716	216
その他の支出	△36	△88
その他の収入	8	114
投資活動によるキャッシュ・フロー	561	△209
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1	△0
現金及び現金同等物に係る換算差額	△79	△151
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△78	△1,654
現金及び現金同等物の期首残高	6,349	6,254
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,270	4,600

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

5. 補足情報

最近における四半期毎の業績の推移

平成28年3月期(連結)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
	平成27年4月 ～平成27年6月	平成27年7月 ～平成27年9月	平成27年10月 ～平成27年12月	平成28年1月 ～平成28年3月	平成27年4月 ～平成28年3月
売上高(百万円)	4,690	2,973	1,895	3,104	12,662
売上総利益(百万円)	1,628	972	628	626	3,854
営業利益又は営業損失(△)(百万円)	400	△240	△585	△610	△1,035
経常利益又は経常損失(△)(百万円)	429	△485	△534	△853	△1,444
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)(百万円)	357	△489	△534	△1,079	△1,744
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失(△)(百万円)	325	△532	△563	△1,080	△1,849
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期(当期)純損失(△)(円)	17.89	△29.28	△30.95	△59.41	△101.75
総資産(百万円)	27,577	25,348	25,296	23,340	23,340
純資産(百万円)	23,912	22,571	22,256	20,570	20,570
受注高(百万円)	4,738	3,266	2,201	725	10,930

平成29年3月期(連結)

	第1四半期	第2四半期
	平成28年4月 ～平成28年6月	平成28年7月 ～平成28年9月
売上高(百万円)	2,009	4,038
売上総利益(百万円)	549	1,246
営業利益又は営業損失(△)(百万円)	△552	46
経常利益又は経常損失(△)(百万円)	△920	7
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(百万円)	△921	7
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)(百万円)	△971	△24
1株当たり四半期純損失(△)(円)	△53.43	△1.29
総資産(百万円)	21,620	22,901
純資産(百万円)	19,164	19,451
受注高(百万円)	3,026	5,441